

# 林 土 連

NO. 277  
RINDOREN KAIHO



令和6年度林野庁治山・林道工事コンクール 林野庁長官賞受賞工事  
薬師岳地区災害関連緊急治山工事 株式会社 山嘉土建（前橋林業土木協会）

## 主な記事

令和8年度予算概算要求の概要  
予算要望活動  
会員からの声



令和8年度予算概算要求の概要

農林水産省は、6月13日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2025（骨太の方針2025）」及び8月8日に閣議了解された「令和8年度予算の概算要求について」に基づき、令和8年度当初予算の概算要求を行いました。

国の要求額は一般会計で120兆円を超え過去最大となる中、農林水産予算総額では対前年度比117.1%の2兆6588億円となっており、このうち公共事業費が8188億円（対前年度比117.5%）、非公共事業費が1兆8400億円（対前年度比116.9%）となっています。（表―1）

林野庁関係予算では、非公共を含む要求額は約3458億円（対前年度比112.7%）となっており、このうち一般公共事業費は約224億円、内訳は治山事業費が約739億円、森林整備事業費が約1485億円いずれも対前年度比118.3%となっています。

（表―2）

また、本年度の概算要求においても「食料安全保障強化政策大綱」を踏まえた食料安全保障の強化に向けた対応に関する経費、「第1次国土強靱化実施中期計画」に係る経費及び「総合的なTPP等関連政策大綱」を踏まえた農林水産分野における経費については、予算編成過程で検討することとしています。

この概算要求は9月から財務省と協議を行い、年末には概算決定され年明けの国会で審議される予定です。

表―1

令和8年度 農林水産予算概算要求の骨子

総括表

（単位：億円）

区 分	7 年 度 予 算 額	8 年 度 要 求・要 望 額	対前年度比
農林水産予算総額	22,706	26,588	117.1%
1. 公共事業費	6,966	8,188	117.5%
一般公共事業費	6,786	8,008	118.0%
災害復旧等事業費	180	180	100.0%
2. 非公共事業費	15,741	18,400	116.9%

- （注） 1 金額は、関係ベース。  
 2 計数整理の結果、異動を生じることがある。  
 3 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

表一 2

令和 8 年度 林野庁関係予算概算要求の概要

(単位：百万円)

区 分	令和 7 年度 当初予算額	令和 8 年度 概算要求額	対前年度比
公共事業費	197,343	231,750	117.4%
一般公共事業費	188,018	222,425	118.3%
治山事業費	62,453	73,882	118.3%
森林整備事業費	125,565	148,543	118.3%
災害復旧等事業費	9,325	9,325	100.0%
非公共事業費	109,487	114,012	104.1%
合 計	306,830	345,762	112.7%

(注) 1 上記のほか、農山漁村地域整備交付金の中で、林野関係事業を措置している。  
 2 金額は、関係ベース。  
 3 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

※ 「食料安全保障強化政策大綱」を踏まえた食料安全保障の強化に向けた対応に係る経費、「第 1 次国土強靱化実施中期計画」に係る経費及び「総合的な T P P 等関連政策大綱」を踏まえた農林水産分野における経費については、予算編成過程で検討。

森林整備事業<公共>

令和 8 年度予算概算要求額 148,543 百万円 (前年度 125,565 百万円)

<対策のポイント>

森林吸収源の機能強化、林野火災対策を含む国土強靱化、森林の集積・集約化の加速化に向けた、間伐、主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良等の推進に加え、花粉発生源対策として伐採・植替え、路網整備等を推進します。

<事業目標>

- 森林吸収量の確保に向けた間伐の実施 (45 万 ha [令和 3 年度から令和 12 年度までの 10 年間の年平均])
- スギ花粉の発生量の削減 (令和 2 年度比 約 2 割削減 [令和 15 年度まで]、5 割削減 [令和 35 年度まで])

<事業の内容>

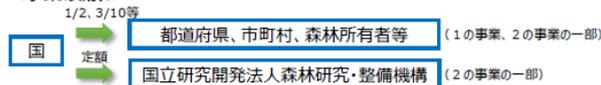
1. 間伐や再造林、路網整備等

- ① 省力化・低コスト化を進めつつ、間伐や再造林等の適切な森林整備を推進するとともに、林業適地等における林道の開設・改良等を推進します。
- ② 森林の集積・集約化を進める地域において、基盤となる林道の整備や効率的な森林整備を支援します。
- ③ 花粉発生源対策として伐採・植替え、路網整備等を支援します。

2. 豪雨・台風等による被害を受けた森林の整備、林道の強靱化等

- ① 豪雨・台風等による被害を受けた森林や奥地水源林、重要インフラ施設周辺の森林等について、市町村等の公的主体による復旧・整備を推進します。
- ② 防災上重要な幹線林道の整備を支援するとともに、半島地域における代替路の確保を推進します。
- ③ 林野火災の危険度が高い地域において、山火事防止施設を備えた防火機能の高い林道や延焼防止に資する防火林帯の整備を支援します。

<事業の流れ>



※ 国有林においては、直轄で実施

<事業イメージ>

**間伐や再造林、路網整備等**

省力・低コスト造林による再造林面積の確保  
路網整備の推進により再造林等を後押し  
森林資源の循環利用  
公益的機能の持続的発揮

造林 下刈り 幹線林道の整備

**豪雨・台風等による被害を受けた森林の整備、林道の強靱化等**

豪雨・台風等による被害を受けた森林や奥地水源林、重要インフラ施設周辺の森林等において、公的主体による復旧・整備を推進  
防災上重要な幹線林道や、防火機能の高い林道、防火林帯の整備を支援

森林の集積・集約化を進める地域において、基盤となる林道の整備や効率的な森林整備を支援  
花粉発生源対策として伐採・植替えの一貫作業や路網整備等を支援

間伐等の森林施業や路網整備 伐採・植替えの一貫作業

台風による風倒木被害 奥地水源林 のり面保全による林道の強靱化 防火林帯の整備

[お問い合わせ先] 林野庁整備課 (03-6744-2303)

治山事業 <公共>

令和8年度予算概算要求額 73,882百万円 (前年度 62,453百万円)

<対策のポイント>

豪雨や地震等に起因する山地災害から国民の生命・財産を守るため、能登半島の複合災害等の教訓を踏まえて短期間により多くの箇所での安全性を向上させる応急対策を強化するとともに、施工性の高い工種・工法の導入促進など、効率的かつ効果的な国土強靱化に向けた取組を推進します。

<事業目標>

周辺の森林の山地災害防止機能等が適切に発揮された集落の増加 (約58.1千集落 [令和5年度] →約60.5千集落 [令和10年度])

<事業の内容>

1. 能登半島の複合災害等の教訓を踏まえた治山対策の強化

- ① 複合災害に備え短期間により多くの箇所での安全性向上を図るため、流木の発生源調査や、激甚災害被災地での危険箇所調査に基づく応急対策を支援します。
- ② 土砂流出の懸念がある山火事跡地において、ワイヤーネット等の簡易的な構造物の設置による応急対策や森林土壌調査を支援します。
- ③ 海岸防災林における津波被害軽減機能の発揮等に向けた適切な密度管理や津波浸水想定区域における避難経路等の危険木除去を支援します。

2. 効率的かつ効果的な国土強靱化に向けた取組の推進

- ① 「選ばれる森林土木」となるよう、治山工事におけるプレキャスト等の施工性の高い工種・工法の導入を促進します。
- ② 第1次国土強靱化実施中期計画で掲げる治山対策の効果を早期に発現させるため、施設の新設と併せた既存施設の機能強化・長寿命化対策を推進します。
- ③ 効果的な森林病虫獣害対策を推進するため、地域で森林保全対策を実施する関係機関等と連携した治山対策を促進します。

※ このほか、地すべり防止施設が被災した場合の緊急的な二次災害防止対策を治山施設災害復旧事業の対象に追加します。

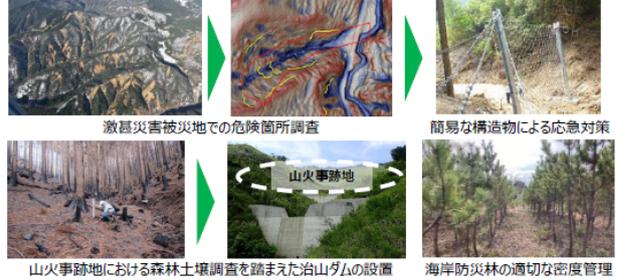
<事業の流れ>



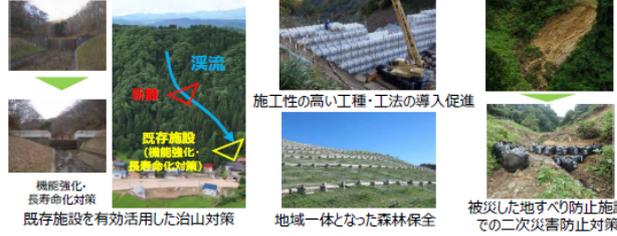
※ 国有林、民有林のうち大規模な山腹崩壊地等においては、直轄で実施

<事業イメージ>

○能登半島の複合災害等の教訓を踏まえた治山対策の強化



○効率的かつ効果的な国土強靱化に向けた取組の推進



【お問い合わせ先】 林野庁治山課 (03-6744-2308)

令和8年度予算の要望活動を実施

7月10日(木)の林土連三役会議において、令和8年度予算の要望書を決議し、会長、副会長が農林水産省に出向いて林野庁幹部等に予算の要望を行いました。

小坂善太郎林野庁長官、谷村栄二次長、清水浩太郎林政部長、齋藤健一森林整備部長、長崎屋圭太国有林野部長には、それぞれの執務室で直接要望書をお渡しし、意見交換を含めて要望を行いました。

各幹部からは、林土連の予算確保に関する要望活動や災害発生時の迅速な対応への感謝の言葉とともに、人件費や資材価格が高騰する中、林野公共事業予算の確実な確保に向けて林野庁あげてしっかりと取り組みたいとの発言がありました。

また、林政課長をはじめ関係各課長と室長にも予算要望を行いました。

林野庁幹部の皆様には、大変お忙しい中にもかかわらず、予算確保や各種施策の取り組みに対する意見交換の場を設けていただき、改めて感謝申し上げます。

林土連では、12月の概算決定に向けてこうした予算要望活動を引き続き実施していきます。



小坂林野庁長官に要望

**森林整備・治山事業促進議員連盟  
総会が開催される**

8月26日（火）に、今年度2回目となる森林整備・治山事業促進議員連盟の総会が参議院議員会館会議室において開催されました（第1回目の総会は、5月19日に開催され、林土連から新谷会長及び堂本専務理事が出席）。

この総会には、山口俊一議連会長をはじめ18名の国会議員（代理出席を含め約50名）が出席されました。

農林水産省からは滝波宏文副大臣、林野庁からは小坂善太郎長官をはじめ、齋藤健一森林整備部長、長崎屋圭太国有林野部長、土居隆行計画課長、諏訪幹夫整備課長、村上幸一郎治山課長、岡村篤憲業務課長が出席されました。

さらに、関係団体から、（一社）日本治山治水協会、（一社）全国森林土木建設業協会、全国森林組合連合会の会長及び専務理事等が出席する中、当協会からは泉 巖副会長、堂本 整専務理事が出席しました。



山口議連会長



滝波農林水産副大臣

総会では、山口会長から「今年度は九州をはじめ全国各地で線状降水帯が発生するなど気候変動の影響が大きくなっている。第1次国土強靱化実施中期計画も踏まえ、森林整備・治山対策を強力に推進する必要がある。林野公共事業予算の増額確保に向けて皆さんと一緒に頑張って頑張っていきたい」とのご挨拶がありました。

続いて、滝波農林水産副大臣の激励のご挨拶の後、全森連の山藤会長、当協会の泉副会長、全森連の中崎代表理事会長が要望陳述を行いました。

泉副会長からは、「線状降水帯の発生に伴う大雨により、九州や本州の日本海側を中心に山地崩壊等の災害が発生した。このような災害が発生した場合には、我々は現場に一番に駆けつけ、地域住民のライフラインを確保するという重要な役割を担っている。しかし、近年では、山村地域の人手不足や高齢化により、十分な現場作業員の確保が困難となる中、建設資材の高騰などにより、企業の経営環境は一層厳しさを増している。今後もこのような状況が続くと山村地域住民の安全・安心を確保することが困難になることは間違いない。「災害に強い健全な森林づくり」を通じて地域住民の安全・安心を確保するためにも林野公共事業予算の中長期的な確保と適正な利潤の確保について、引き続き力強いご支援を賜りたい」と訴えました。

次に、齋藤森林整備部長より、森林整備事業・治山事業の推進



泉 副会長

について説明があり、その後の意見交換を踏まえ、決議文を採択し総会を終了しました。

なお、9月10日には、採択された決議文をもって山口会長はじめ11名の国会議員が加藤勝信財務大臣を訪れ、林野公共事業予算の確保について申し入れを行いました。



議連総会の状況



山口会長はじめ11名の国会議員が財務大臣へ予算要望

## 第2回理事会を開催

9月9日（火）令和7年度第2回理事会を開催しました。冒頭、新谷龍一郎会長から「今年の梅雨は雨が少なく、各地で水不足による農作物などへの被害が心配されるような天候となりましたが、一転して8月に入ってからには、九州や東北、北海道でも線状降水帯が発生し、長時間激しい雨が降った地域では、山地崩壊等の甚大な被害が発生し



新谷会長



理事会の状況

た。被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げるとともに、会員の被災直後からの応急復旧工事や国有林防災ボランティア活動への尽力に感謝申し上げる。このような中、先月26日には「森林整備・治山事業促進議員連盟」の総会が参議院議員会館で開催され、山口俊一会長をはじめ多くの国会議員や林野庁長官など多数の林野庁幹部が出席する中、来年度予算の確実な確保に向けた決議が行われた。ここ数年は、補正予算を含めて2600億円を超える予算を確保することができているが、最近の人件費や建設資材の高騰を踏まえるとこれまでと同額の予算では事業量は減少することとなる。林土連としては、これらの現状をしっかりと訴え、必要となる予算の確保に今後とも努めてまいりますので、会員の皆様方には引き続きのご協力をお願いしたい旨の挨拶がありました。

理事会は、定款に基づき新谷会長が議長となり、堂本専務理事が資料に基づき説明を行いました。

審議事項は次のとおり。

(1) 令和7年度林土連技術現地研修会の開催について

10月22日(水)～23日(木)、長野県軽井沢町において技術現地研修会を開催することを決定し、長野林業土木協会の協力のもと準備を進めることが承認されました。

(2) 林土連青年交流会(仮称)発足検討委員会の設置について

令和7年度事業計画に基づいて青年経営者等の連合組織である「林土連青年交流会(仮称)」の発足を検討するにあたり、「青年交流会発足検討委員会」を設置し、検討を進めることが承認されました。

報告・説明事項は次のとおり。

- ① 業務執行状況報告について
- ② 重大災害の発生について
- ③ 令和7年度技術・安全対策実施方針について
- ④ 令和7年度林土連コンプライアンス講習会等の開催について
- ⑤ 自由民主党森林整備・治山事業促進議員連盟の総会について
- ⑥ 令和8年度林野公共事業予算の要望活動について

理事会終了後は、林野庁の岡村篤憲業務課長と藤原 司企画官から、林野庁の令和8年度予算概算要求や最近の林野情勢等についてご説明を頂き意見交換を行いました。

最初に、岡村業務課長から、ご挨拶に続けて、8月末に財務省に提出した令和8年度予算概算要求の概要について、次に藤原企画官から、治山・林道事業を巡る諸情勢や改正建設業法に基づく労務費の基準、請負事業体等の重大災害の発生についてご説明をいただきました。

ご多忙の中、会場にお越しいただきお話をいただいた岡村業務課長、藤原企画官には、改めて御礼を申し上げます。



林野庁 岡村業務課長



林野庁 藤原企画官

## 第23回コンプライアンス委員会 を開催

9月9日の第2回理事会に併せて、第23回コンプライアンス委員会を海運クラブで開催しました。

平成26年7月に発足した林土連のコンプライアンス委員会は、発足以降毎年コンプライアンス講習会の開催のほか、各協会が実施するコンプライアンス活動に協力しています。

今回の委員会では、令和7年度事業計画に基づき、来る11月18日(火)にコンプライアンス講習会を開催することを決定しました。

このほか、令和6年度に各協会が実施した社会貢献活動を取りまとめた冊子を発行し関係機関に配布したこと、各林業土木協会が行った社会貢献活動のうち特に優秀な取り組み3点(旭川協会、北見協会、

青森協会)を選定し表彰を行ったこと、各協会の活動を林土連のホームページに掲載して情報発信していることなどを報告しました。

コンプライアンス活動は、毎年同じような内容で地道な取組になりがちですが、法令遵守と企業倫理の確立に不可欠であることから、林土連では各協会と協力しながら引き続き活動していくこととしています。



コンプライアンス委員会

## 事務局長会議を開催

9月10日(水)、都内会議室において事務局長会議を開催しました。事務局長会議は、例年この時期に開催される理事会に併せて開催して

おり、今年も第2回理事会の翌日に開催し、各協会の事務局長が出席しそれぞれの業務に関する知識の向上と相互理解を深めました。

会議では、10月に長野県軽井沢町で予定している林土連技術現地研修会について、長野林業土木協会の永井事務局長から研修会の流れや留意事項等について詳細な説明が行われました。



事務局長会議

事務局長会議の中で例年開催している外部講師による講演会では、今年は森林総合研究所林業工学研究領域省力化技術研究室の鈴木秀典室長を講師にお迎えし、「路網の現状と森林総研における路網研究」と題してご講演をいただきました。

講演は、歴史を遡った木材輸送手段の変遷、林道のはじまり、これまでの路網開設の歩み、路網の維持管理と現状、災害への対応、代替路への活用など、路網の開設のあゆみと維持管理の現状についてご説明があり、森林総研における路網研究について、施行、計画、排水、災害についての研究の概要が、最後に林道の輸送効率の向上(林道の高規格化)、省力化・低コスト化・災害対応に対応した維持管理、森林サービス産業や代替路としての多用途利用など、今後の路網に求められるものについてご説明をいただきました。

林道を含む路網について、幅広い講演内容で、知識の向上に大いに役立つ有意義な講演会となりました。改めて講師を務めていただいた鈴木様には、厚く御礼を申し上げます。



森林総研 鈴木室長



講演会の様子

会員からの声

躍動する大地、多彩な魅力、未来を拓く技術

北海道新冠町からの招待状

ケイセイマサキ建設株式会社

代表取締役 正木 健太

(札幌林業土木協会)

生命の息吹と豊かな大地、そして人々の営み

新冠町（にかっぷちよう）は、北海道日高地方に位置し、太平洋の恵みと日高山脈の雄大な自然に囲まれた自然豊かな町です。

約5300人（2025年4月現在）の人々がこの豊かな大地でそれぞれの営みを紡いでいます。日本屈指の軽種馬（競走馬、ウマ娘）の生産地として広く知られ、広大な牧草地が織りなす風景は、まさに

「サラブレッド銀座」と称される

壮観さです。春には桜並木が町を彩り、夏には涼やかな風が吹き抜け、秋には紅葉が山々を染め上げ、冬には一面の銀世界が広がります。四季折々の美しい景観は、写真愛好家や自然を求める人々にとって格別な魅力です。



生まれたてのサラブレッドの仔馬

多彩な食と文化の体験

新冠町の魅力は、豊かな自然が育む食文化にも息づいています。肥沃な大地で育まれた新鮮なピーマンは、北海道内ナンバーワンの生産量です。太平洋で水揚げされる海の幸は、風味豊かで訪れる人々の舌を唸らせます。

そのなかでも特に、道の駅サラブレッドロード新冠で味わえるピーマンソフトクリームは、意外な組み合わせながらも地元で人気の逸品です。



道の駅で人気のピーマンソフトクリーム

文化的な魅力も豊富です。世界的な彫刻家でフランスの幻想絵画の鬼才としても活躍する「ジェラルド・デイマシオ」や安田侃（やすだかん）氏の作品を展示する「デイマシオ美術館」は、自然とアートが融合した空間で、訪れる人々に深い感動を与えます。広大な敷地に点在する彫刻作品は、自然光の中で様々な表情を見せ、見る者の心を捉えて離しません。そして、この美術館にはギネス世界一の大きさを誇る油絵「生の賛歌」が展示されており、その圧倒的なスケールと迫力は必見です。

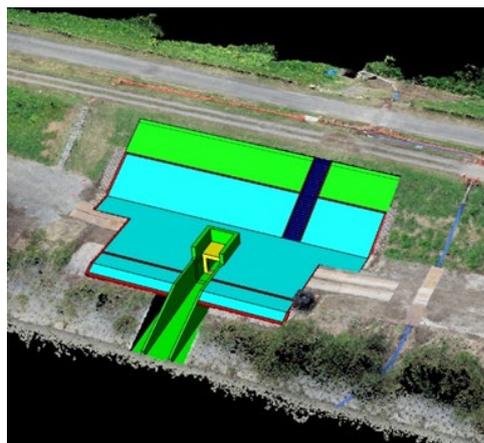
また、町内には競走馬に関する情報発信拠点である「新冠町レ・コード館」があり、サラブレッドの歴史や文化に触れることができます。さらに、日帰り温泉施設「レ・コード温泉」では、旅の疲れを癒し、地元の人々との交流を楽しむことができます。



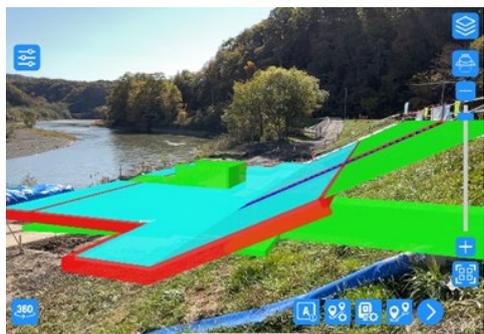
まもなく開通の  
新冠インターチェンジ



I C Tで施工した日高自動車道



3次元モデルデータ



A R (拡張現実)

ケイセイマサキ建設株式会社「革新の技術で地域を未来へ繋ぐ」  
私たちがケイセイマサキ建設は、この豊かな自然に囲まれた新冠町を  
拠点に、地域社会の発展に貢献する建設事業を展開しています。創業  
以来、土木工事、建築工事、舗装工事など、幅広い分野で高い技術力  
と豊富な経験を培ってまいりました。



世界最大の油絵  
(ディマシオ美術館)



レ・コード温泉

また、働き方改革にも積極的に取り組み、社員一人ひとりが働きや  
すい環境づくりを目指して、A I・遠隔臨場を活用した現場管理の導  
入も進めており、安全性と効率性を両立した次世代の建設現場の実現  
に努めています。

近年では、再生可能エネルギー（太陽光発電、風力発電、  
データセンター建設）分野に  
取り組むとともに、I C T施  
工の内製化を積極的に推進  
し、生産性の向上と効率的な  
現場管理を実現しています。  
B I M / C I Mにも対応し、  
設計段階から施工、維持管理に至るまで、一貫した情報連携により、  
より高品質で持続可能なインフラ整備に取り組んでいます。



ドローンによる測量



● ● ● 林野庁人事 ● ● ●

◎ 7月1日付けで林野庁及び森林管理局の人事異動がありました。益々のご活躍をお祈り申し上げますとともに、引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

(掲載は林業土木関係者のみ、敬称略)

7月1日付け

【林野庁関係】

長官

次長

森林整備部長

森林整備部計画課長

森林整備部整備課長

国有林野部長

国有林野部経営企画課長

小坂善太郎

谷村 栄二

齋藤 健一

土居 隆行

諏訪 幹夫

長崎屋圭太

石井 洋

【森林管理局関係】

東北森林管理局長

近畿中国森林管理局長

四国森林管理局長

九州森林管理局長

箕輪 富男

上口 直紀

田中晋太郎

眞城 英一

● ● ● 編集後記 ● ● ●

◎ 今年は梅雨が異例の早さで過ぎ去ったこともあり、早くから猛暑に見舞われ、全国各地で記録的な暑さとなりました。また、大気の状態が不安定な中、線状降水帯の発生等による局地的な集中豪雨により、各地で山地崩壊や浸水などの被害が発生しました。

◎ 気候変動の影響と思われる近年の自然災害は、激甚化とともに広域・多発化する傾向が顕著になりつつあります。被災地の復旧対策はもとより、事前防災や減災の観点から、災害に強い健全な森林づくりによる緑の国土強靱化の推進が一層重要となっています。6月には第1次国土強靱化実施中期計画が閣議決定されました。人件費や建設資材の高騰に対応した十分な予算が、別枠で切れ目なく確保されることが望まれます。

◎ 林土連は、令和8年度予算においても林野公共事業予算の確保に向け、関係団体や林業土木協会と連携して取り組んでまいります。会員の皆さまには引き続きのご支援とご協力をお願いいたします。

一般社団法人

日本林業土木連合協会

東京都千代田区永田町二一四一

山王グランドビル三階

(TEL) 〇三―三五八―一七七〇四  
(FAX) 〇三―三五八―〇一八四〇三

http://rindoren.or.jp  
発行者 堂本 整

